

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長	吉本 敏明
都整-11	重点事業	鎌倉駅東口駅前広場整備事業	■ 自治事務	主管課 道路課
			□ 法定受託事務	関連課 交通政策課・道水路管理課
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	道路・交通体系の検討

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<p>・平成30年度に引き続き、鎌倉駅東口駅前広場整備工事、鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木)監理等業務委託及び鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築)監理等業務委託を実施した。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	74,116	7,785	当初予算(千円)	94,643
	国県支出金			国県支出金	
	地方債	37,500		地方債	79,300
	その他			その他	
	一般財源	36,616	7,785	一般財源	15,343
	人員配置数	1.1	1.1	人員配置数	1.1
			会計年度任用職員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	9,185	9,149	人件費(千円)	9,157
	総事業費(千円)	83,301	16,934	総事業費(千円)	103,800
	市民1人当りの経費(円)	472	96	市民1人当りの経費(円)	588
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	
		協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・平成28年度に基本設計、平成29～30年度に実施設計を行い、平成30～令和2年度で工事及び工事監理を行う。 ・工事及び工事監理は、継続費を設定しており、確実な予算管理が必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・鎌倉駅東口駅前広場は、舗装の劣化が著しいことに加え歩道幅員が狭いため、観光客等とバス待ちの行列などが錯綜し、歩行に支障を及ぼすなど歩行環境の悪化が懸念されている状況である。 ・そのため、舗装の修繕や歩行の拡幅整備を行い、歩行エリアと滞留エリアを確保するとともに、歩行者や車両の安全性、利便性を向上を図ることとしている。また、整備にあたっては、引続きJR東日本、商工業者、交通事業者等の関係機関と密に調整を図り、工事完成に向け円滑な進捗に努めていく。		

<p>令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)</p>	<p>・平成31年2月議会において、市民の利便性の向上を図るため、一般車の停止スペースの設置や広場中央の横断歩道の撤去を求められているが、広場の整備工事は限られたスペースで計画したもので、現行計画にて交通管理者や交通事業者との協議が整っているため、レイアウトの変更が出来ないことが課題となっている。</p>	
<p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>	<p>・市議会における駅前広場のレイアウト変更に係る請願等に対し現行計画にて進めていく旨の丁寧な説明に努めたが、一部の方から理解が得られていない。</p>	<p><input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決</p>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<p>・一般車の停車スペースの設置や広場中央の横断歩道の撤去は困難であるが、工事完了後の広場の利用状況を見ながら、運用の中で課題の解決に努めていく。</p>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>	
-----------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>	
------------------------------	--